

講道館段位推薦委託団体会長会議 議事録



上村講道館長の挨拶

日 時…平成30年2月20日(火)

14時～15時

場 所…講道館新館2階教室

出席者…100団体会長(または代理)

嘉納行光名誉館長、上村春樹講道館長、松下三郎理事以下各部部长など

1. 開 会

会議に先立ち、東行雄総務部長から、書類、資料の確認が行われ、その後、開会となった。

2. 館長挨拶

上村館長からはまず、各委託団体における段位審査や柔道普及振興等への感謝の言葉が述べられた。そして今年度の昇段者数、入門者数につ

いて、若干上向いているが、少子化によって柔道人口は依然減少傾向にあるため、今後も更なる普及振興に努めていかなければならないとの話があった。

3. 議 題

(1) 講道館級位(少年)の指針提示について

今般講道館では、講道館級位(少年)についての指針を提示した。この経緯については松井勲審議部長から説明があった。松井審議部長は、各地から級位に関して頂いた多くの問い合わせが1つの契機となったこと、少年の稽古や試合での安全確保および指導効率化

を図るといった講道館柔道の奨励

を目的としていること、また、少年級位の改善により近年減少傾向にある柔道人口の増加を目指すという目標があることを説明した。

続いて資料に基づき「講道館級位(少年)基準」について、①級位の数、②昇級できる最少学年、③最少修行月数、④基礎知識、⑤基本動作、⑥受身、⑦投技・固技、⑧帯の色等の詳細説明、並びに「少年級位の認定」について、①級位認定の委任、②級位証書、③委任された団体の業務、④級位の対象、⑤昇級の基準、⑥昇級候補者の審議、⑦昇級時の費用等、詳細な説明があった。

・質問…報告する少年修行者数とは、漠然と人数の報告でよいのか、それとも各級の人数がよいのか。
松井部長…その団体に所属する少年修行者の総数を年度毎に報告し

てほしい。

・質問…初段昇段最少年齢の14歳を13歳にする旨、検討してほしい。

松井部長…今年度から13歳でも中学2年生であれば初段に昇段できると変更したが、その数的結果がまだ出ていないこともあるので、今後数年のデータを見てから検討していきたい。

・意見…成年には初段の前に一級を与えているが、今後少年についても検討していく。

松井部長…少年の一級がそのまま成年の一級もしくは二級に編入できるようにして、茶帯をそのまま使える仕組みについて各々検討してほしい。

・質問…平成4年の級位内規に従って行っている。今回はその大幅な改定ととらえてよいのか。また、入門料や経費についてはどうなのか。



講道館級位(少年)について説明する松井審議部長

なるべく少年に負担がかからないようにしてほしい。

・質問…経費は考えなくてよいのか。

上村館長…講道館に納めるお金はない。お金はなるべくかからないように、それぞれの委託団体の経費について考えてほしい。また、この指針は、子どもたちによる気持を持って、柔道が続けてもらおうという奨励の目的で提示している。

・質問…幼児に級を与えているができなくなるのか。また、県で統一した独自の方法で行っているが、今回のガイドラインにすぐに合わせなければならぬのか。

上村館長…今回のガイドラインは目安であり、帯の色がバラバラであるものを将来的に統一したいというのが主旨である。また、すぐに実施するというのではなく、幼児から級を与えることについても

あってよい。

・質問…この資料だけでは県下に通達するのに難しいことと、実施するために準備期間がかなり必要になると考えるがどうか。

松井部長…県の実情に応じて随時実施してもらいたい。審査の方法等についても各々におまかせする。意見…この基準を活用していきたい。

松井部長…早ければ4月から、証書等の手配にかかりたい。

・質問…将来的に級が無いと試合に出られないというようなことはあるのか。

上村館長…まったくしぼりは無い。(2) 講道館青少年育成講習会について

鮫島元成道場指導部長から、資料をもとに講道館青少年育成講習会についての説明があった。この講習会は、日本の将来を背負う青少年に講道館柔道の真の理解を促



質疑応答の様子

(3) その他
し、心身の健全な育成を期待して実施しているもので、鮫島部長は講習内容や4年間の実施状況等を概説した。また、今後の実施場所の推薦を依頼した。

- ・東部長から、講道館ホステルのリニューアルについて、宿泊再開時期および宿泊料金等の説明があった。
- ・松井部長から、意見交換のため昨年からの委託団体の昇段・昇級審査会に審議部が訪問しているが、来年度も引き続き実施する予定のため、協力の依頼を行った。
- ・提案…全国高段者大会の参加点が高評であるので、地区、府県の高段者大会の参加点及び不戦勝の得点付加について、検討してほしい。
- ・松井部長…各団体への訪問で意見交換していることの中にこの高段者大会の参加点等も含まれるので、今後皆さんの意見を参考に検討していきたい。
- ・質問…累積による両者「反則負け」について、県下の審判員の間で不安があるので、改正に至った経緯等を教えていただきたい。

上村館長…IJFで昨年末から議論をされ、今年から導入されているが、両者がどうしようもない試合をしているなら仕方が無いということで決定した。県下の先生方が不安に思うことは理解できるが、実際に両者「反則負け」にならないように配慮して行ってほしい。また、試合者が両者「反則負け」にならないように指導してもらいたい。

4. 閉会

東部長が閉会を宣言した。

以上



J-1700 高級二重晒背継柔道衣 全柔連認証番号
上衣: JU0166
メーカー希望小売価格 ¥25,000+税 下衣: JU0168

J-950 二重晒背継柔道衣 全柔連認証番号
上衣: JU0167
メーカー希望小売価格 ¥15,500+税 下衣: JU0124

全柔連認定柔道衣取扱メーカー
(株)高柳喜一商店
ISO:9001取得 認証番号11051



一本勝

本社 静岡県浜松市浜北区中条243-1
TEL 053-586-2456 FAX 053-587-7289

名古屋支店 TEL/FAX 0586-45-3204
熊本支店 TEL 096-233-1945 FAX 096-233-1946
東京店 TEL 03-6279-2499 FAX 03-9279-2115

関東営業所 TEL/FAX 048-061-1092
大阪営業所 TEL/FAX 072-247-8232